

# ほんがいっぱい



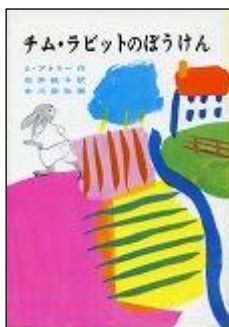
## よんでみよう！

### 3・4年生のための本

#### ①『チム・ラビットのぼうけん』

アリソン・アトリー／作 石井桃子／訳 中川宗弥／画 童心社 《A F A》

子ウサギのチム・ラビットはいたずらっ子。ひろったハサミでなんでも切りはじめました。おもしろくなったチムは、おかあさんがるすの間に自分の毛もぜんぶ切ってしまったので、おかあさんにはだれだかわかりません。とうとう家から追い出されてしまいました。



#### ②『カルペパー一家のおはなし』

マリオン・アピントン／作 ルイス・スロポドキン／絵 清水眞砂子／訳 瑞雲舎《F A》

紙人形のカルペパーさんは、おくさんと女の子4人、男の子4人のこどもたちといっしょに、子どもべやのかべにとめられた紙の家に住んでいます。家のまわりはふしぎなこと、わからないことだらけ。何があるのかたんけんしているうちに女の子の1人がいなくなってしまう…。



ところざわ しりつところざわ としょかん ねん  
所 沢市立 所 沢図書館 2017年

#### ③『のんびり村は大さわぎ！』

アンナレーナ・ヘードマン／作 菱木晃子／訳 杉原知子／絵 徳間書店 《Fへ》

あたしの名前は、アッペ。去年の夏、友だちとギネスの世界記録に挑戦したんだ。鼻のあなにマッチぼうをつめてみたり、口の中にストローを何本もくわえてみたけど、ぜんぶしっばい。そのうち、すばらしいアイデアを思いついた。でも、それが村じゅうをまきこんでの大さわぎに！



#### ④『七人のゆかいな大どろぼう』

たかしよういち／作 スズキコージ／絵 理論社 《Fタ》

若いぼうさまは、おつとめがつらくて寺をとびだした。お堂で見つけたチョンマゲをつるつる頭にかぶったら、なんと殿様そっくりに。さむらいたちにお城へつれていかれて、ごちそうをはらいっぱい食べたが…。(ちょんまげどろぼう)

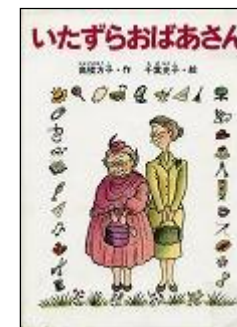
ほかにも ゆかいなどろぼうが いっぱい！



#### ⑤『いたずらおばあさん』

たかどのほうこ／作 千葉史子／絵 フレーベル館 《Fタ》

エラババ先生は84歳。とてもえらい洋服研究家です。ある日、先生は1まい着ると1歳わかくなる服を発明しました。それを弟子のヒョコルさんとたくさん着て、ふたりは8歳の女の子に大変身！うその手紙をだしたり、デパートの家具売り場のベッドにもぐりこんだり、つぎつぎといたずらをはじめます。



## ⑥『へんてこだより』

さいとうひろし さく すぎうらはん も え こみねしよてん  
斉藤 洋 / 作 杉浦 範茂 / 絵 小峰 書店 《Eス》

ニルゲンツは ちいさなまちです。どろぼ  
うなんていない へいわなまちなので、おま  
わりさんは ひとりしかいません。しかも、  
そのおまわりさんは すこしへんてこです。  
みぎはんぶんが きいろ、ひだりはんぶんが  
あおいせいふくを きています。いった  
いなぜでしょうか？



## ⑦『干したから…』

もりえだたかし しやしん ぶん フレーベル館 《61》  
森枝卓士 / 写真・文

トマトは、太陽の下で干すとしわしわにな  
る。干したら、なにがかわるのだろう？  
世界中の市場をのぞいてみると、干した  
ものがいろいろある。野菜、魚、くだもの…  
コウモリやネズミの干物だってあるんだよ。  
なんのために干すのかな？ そのひみつをさ  
ぐってみよう！



## ⑧『夜空をみあげよう』

まつむらゆりこ ぶん ジョン・シェリー / 絵 福音館書店 《44》  
松村由利子 / 文

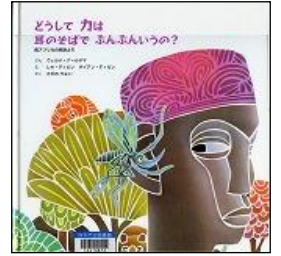
はるかとおとうのじゅんは まいばん夜空を  
見上げています。ある日、あかるい光が空を  
よこぎるのが見えました。ながれ星かと思っ  
たのに、ちがうんだって。二人ががっかりし  
ていると、お父さんが、夏休みに、山へなが  
れ星を見に行こうと言ってくれました。



## ⑨『どうして力は耳のそばでぶんぶんいうの？』

ヴェルナ・アルデマ/ぶん レオ・ディロン、ダイアン・ディロン/え さがのやよい/やく 童話館出版《M》  
どう わ かんしゅつばん

森の夜があまりにながすぎるので、動物かいぎ  
がひらかれました。ライオンはフクロウに「どう  
してお日さまをおこさないのだ」とききました。  
フクロウはサルのせいだと言ひ、サルはカラスの  
せいだと言ひ、カラスはウサギのせいだと言ひ…。



## ⑩『あたまをつかった小さなおばあさん』

ホープ・ニューウェル/作 まつおかきょうこ さく  
やまわき ゆりこ が ふくいんかんしよてん  
山脇百合子 / 画 福音館書店《AFニ》

おばあさんは、羽ぶとんを作ること  
にした。でも、がちょうの羽をむしる  
のは、かわいそう。ここはひとつ、頭  
をつかかわなくちやいけないね！

## ⑪『カボチャのなかのたねいくつ？』

マーガレット・マクナマラ/作 G.ブライアン・カラス/え  
まきふみえ さく フレーベル館《Eカ》  
真木文絵 / 訳

ちいさいカボチャ、ちゅうくらの  
カボチャ、おおきいカボチャ、たねが  
いちばんおおいのは、どれ？ みんなで  
なかをしらべてみたら…。

## ⑫『くしゃみくしゃみ天のめぐみ』

まつおかきょうこ さく てらしまりゆういち が ふくいんかんしよてん  
松岡享子 / 作 寺島龍一 / 画 福音館書店《AFマ》

むかし、はくしょんという男が  
いた。ある日、はくしょんは、ま  
だだれも行つたことのない てん  
ぐ山のむこうへ行くことにした。

## ⑬『日本の川 あらかわ・すみだかわ』

むらまつあきら さく かいせいしや  
村松 昭 / さく 偕成社《51》

ちちぶの山おくから流れだす  
「あらかわ」。むかしは、大水にな  
るほどのあばれ川だったんだ。やな  
せ川も「あらかわ」にそそいでいる  
よ。地図でたどってみよう！

## ⑭『かぞえうたのほん』

きしだえりこ さく スズキコージ/え  
岸田 衿子 / 作 スズキコージ / 絵  
福音館書店《チヤ》  
ふくいんかんしよてん

「いちくん いちごの たねだけた  
べた…」こんなひといるかな？（へ  
んなひとかぞえうた）ほかにもたの  
しいかぞえうたがいっぱい！

## ⑮『アマミホシゾラフグ』

えぐちえり おおたようじ  
江口 絵理 / ぶん 大方 洋二 / しやしん  
ともなが しゅつばん  
友永 たろ / え ほるぶ出版《48》

みなみ うみ そこ み ちよつけい  
南の海の底で見つかった直径  
2メートルほどもある丸い形のな  
ぞめいたもよう。だれが、なんのた  
めに、どうやってつくったのかな？